



尖閣・竹島で中韓密約

独占スクープ—— 朴槿恵・韓国大統領の守護霊が“本音”



中国を訪問し、習近平国家主席（左）と望月ムードを演出する朴槿恵・韓国大統領（6月27日） 写真：Landov/アフロ

「中国が尖閣を取り、韓国が竹島を取る」

朴槿恵 韓国大統領が中国を訪問し、習近平・中国国家主席と仲睦まじく「中韓蜜月ムード」を演出している。朴氏は習主席に、日本の初代首相を務めた伊藤博文を暗殺した安重根の記念碑を、暗殺現場の中国・ハルビン駅に設置することを持ちかけた。「従軍慰安婦」問題に続き、日本を敵視し中国に接近する言動をなぜ韓国は続けるのか？ 日本にとって、ともに領土問題を抱えている中韓の接近は大きな危機につながる。そこで大川隆法・幸福の科学グループ創始者兼総裁は6月29日、安重根の霊を呼び、公開霊言を行った。だが、その途中から現われたのは、なんと朴大統領の守護霊だった。そして、全世界を激震させる「本音」を明らかにした。

「北朝鮮が攻めてきたら私は中国に亡命する」

安重根の霊は、「病院のような、刑務所のようなところに隔離されている」と言い、自分が死んだことも分からない状態だった。死後百年余を過ぎてても不成仏の状態で、地獄の「牢獄」にいたことが分かった。安重根は時代が1910年の死刑執行の時点で止まっていて、話はいまのまま。ところが途中から、理路整然と語り出した。明らかに安重根の霊とは違う。「誰か？」と問うと現われたのは「朴槿恵です」との答え。大統領の守護霊みずから割って入ったのだ。朴氏の守護霊は、今回の中韓首脳会談で「密約」が交わされたことを明かした。

「安倍対策」よ。日本がもう一回力をつけて、軍国主義を復活させることは絶対に阻止しなければいけない。そのために中国と事実上の同盟関係を結んで、北が侵攻しないようにしてくれば、中国の言うことを聞く」

「尖閣を巡って日本が中国に攻撃をかけたきたら、同時に竹島もやられてしまう。竹島の次は日本軍は韓国を攻めてくる。だから中国には絶対に尖閣を取ってほしい」

朴氏守護霊は、「オバマ米大統領は嫌い」とも言い放ち、「北朝鮮が」核攻撃してきたら、前の日に分かるから、私は中国に亡命する。ソウル市民は助かりませんよ」（韓国が中国の属国になっても）自治区として残るからいいのよ」と、自らの身の安全と引き換えに、韓国民を中国に売るような発言も繰り返した。

日米韓の自由と民主主義を守れ

これを受けて幸福実現党の矢内筆勝党首は、こう語る。「韓国はこの選択は、日米韓の同盟関係を自ら壊し、全体主義、独裁国家を増長する方向です。日本としては、従軍慰安婦問題や安重根の記念碑などに惑わされず、日米韓の自由と民主主義を共に守っていくよう連携する必要がありますでしょう」

「ザ・リバティWeb」(無料記事)



でもレポートが読めます。
⇒ the-liberty.com/

「安重根は韓国の英雄か、それとも悪魔か——安重根&朴槿恵守護霊の霊言」の映像は、幸福の科学の支部・精舎で6月30日から、

どなたでも拝聴できます。さらに7月10日以降、全国書店で緊急発刊の予定。